

公務上死亡災害の発生状況

(平成29年度認定分)

平成31年2月

地方公務員災害補償基金

第2 公務上死亡災害発生事例

(2) 石綿曝露による被災

【事例6】石綿が飛散していた職場に在籍したことによる曝露

| | |
|---------------|------------------|
| 団 体 区 分：市町村等 | 職 員 の 区 分：運輸事業職員 |
| 死 亡 年 齢：70歳代 | 災害発生年月：平成21年11月 |
| 傷 病 名：悪性胸膜中皮腫 | |

(概 要)

被災職員は、列車のブレーキや隧道内工事により石綿が飛散していた職場に在籍していた。健康診断をきっかけに医療機関を受診したところ、悪性胸膜中皮腫と診断された。

【事例7】ボイラー修理等に従事したことによる曝露

団 体 区 分：市町村等 職 員 の 区 分：その他の職員
死 亡 年 齢：80歳代 災害発生年月：平成27年9月
傷 病 名：悪性胸膜中皮腫

(概 要)

被災職員は、病院にてボイラー技師として勤務していた。ボイラー修理等の業務を行った際、石綿に接触し吸入したため、悪性胸膜中皮腫を発症したものの。

【事例8】石綿を含む建物の施工管理に従事したことによる曝露

団 体 区 分：都道府県 職 員 の 区 分：その他の職員
死 亡 年 齢：40歳代 災害発生年月：平成28年12月
傷 病 名：悪性胸膜中皮腫

(概 要)

被災職員は、設備技師として施工管理に係る業務を行った際、石綿に接触し吸入したため、悪性胸膜中皮腫を発症したものの。